

第3次行田市環境基本計画案に対するご意見（嶋田会長より）

箇所	意見
P2 の計画期間	<p>国の環境基本計画の計画期間は 2023 年までではないでしょうか（2029 年に見直しを行うとしているが）。温室効果ガス排出削減の国際的な中間目標も 2030 年としているので、あえて、2029 年とする意味があるのでしょうか。</p> <p>→2024 年 6 月に第 6 次環境基本計画が公表されています。策定後概ね 5 年が経過した時点で見直しが予定されており、整合を図るため 2029 年までとさせていただきます。</p>
P3 の計画の範囲の「気候変動」	<p>環境の範囲に「気候変動：カーボンニュートラル」とありますが、今回の計画は適応策も包含したものであるなら、カーボンニュートラル（緩和策）に加えて、適応策についても記述したほうが良いと思います。</p> <p>例えば「気候変動：カーボンニュートラル・気候変動適応」などとし、環境項目は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;低炭素社会&gt;再生可能エネルギー・省エネルギーの推進</li> <li>&lt;気候変動適応策&gt;気候変動による影響の低減</li> </ul> <p>など</p> <p>→本計画は「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「ネイチャーポジティブ」の 3 つの柱を据え構成していることから、体裁の都合上このままの表現とさせていただきます。</p>
P5 1-1	<p>「気候変動：カーボンニュートラル」とありますが、これも P3 と同様に内容的には適応策の記述もあるので、「気候変動：カーボンニュートラル・気候変動適応」などとしたほうが良いと思います。</p> <p>→上記と同様の理由により、修正しておりません。</p> <p>また、国の状況の中で、2016 年の計画と目標（26%削減）の記述がありますが、あえて記述する必要は無いのではないのでしょうか。直近の 2021 年度改訂版だけで十分では。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p> <p>さらに、国の気候変動適応計画ははじめのものが H30 に閣議決定されていたので確認したほうが良いかと思います。2021 年が最初ではないので記述を工夫したほうが良いと思います。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p> <p>埼玉県の場合に、「第 2 期埼玉県地球温暖化対策実行計画」とありますが、現在の計画の正式名称は「埼玉県地球温暖化対策実行計画（第 2 期） 改訂版」です。こちらも国と同様、あえて古い計画の数値を示す必要は無いと思います。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p>
P5 の下段	<p>カーボンニュートラルの説明の他に、適応策に関する説明を加えた方が良いと思います。適応策はまだ十分浸透していないため説明が必要だと思います。</p> <p>⇒P30 で適応の説明をしていますので、このままの表現とさせていただきます。</p>

P6 国の状況	<p>循環型社会形成推進基本計画は今年度8月に第5次計画が閣議決定されています。また、令和6年6月に国の第6次環境基本計画が閣議決定され、その中でも、サーキュラーエコノミーが強調されています。計画等の更新状況を確認するとともに新しい計画にも触れたほうが良いと思います。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p>
P7 世界の状況	<p>昆明・モンテリオール生物多様性枠組の特に重要なメッセージに、30by30があります。補足をしたうえで加えたほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>⇒主旨となる「全体の30%を保全地域とする」を追記いたしました。</p>
P7 埼玉の状況	<p>直近の戦略の中身のほうが重要なので、2018年の戦略は不要で、2024年の内容を紹介したほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p>
P8 1-4 の国の状況、県の状況	<p>「工場等から日常生活に起因する生活環境への影響が増えています」とありますが具体的には何を指しているのでしょうか。もう少し丁寧に説明したほうが良いと思います。県も同様です。</p> <p>⇒影響が増えていることに対して関連性を示すデータ等が乏しいため、いずれも削除いたしました。</p>
P8 1-5 の世界の状況	<p>2つ目の○に「～ESG投資を促した」とありますが、誰がどの様な制度で促したかが示されていません。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p>
P8 1-5 の国の状況	<p>1つ目の○で法の施行が示されていますが、どの様な趣旨の法律なのか分かりません。例えば</p> <p>「持続可能な社会構築のため環境保全活動や協働取組を推進し、国民生活の質向上を目指すために～」とか</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p>
P9 の(2)	<p>文章と下のグラフを見ると、下のグラフはCO2濃度の推移を示していると誤解されそうです。またCO2濃度の観測は今年いっぱい終了する予定となっています。さらに、観測を行っているのは埼玉県気候変動適応センターではなく、埼玉県環境科学国際センターです。なので、</p> <p>「埼玉県が行っている行田市の温室効果ガス排出量推計結果を見ると、排出量は減少傾向にあり、〇〇年に対し〇〇%減少しています」といった表現が良いと思います。また、他のグラフも同様ですが、タイトルを付けるのが一般的です。</p> <p>なお、埼玉県が推計している市町村の温室効果ガス排出量は下記を御覧ください。</p> <p><a href="https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/ontaico2.html">https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/ontaico2.html</a></p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p>
P11 代替エネルギー	<p>サーマルリサイクルを代替エネルギー（再生可能エネルギー？）として捉えるのかには議論があるところだと思います。（5）にも太陽光があり、（4）と（5）は統合し、サーマルリサイクルの記述は簡単な紹介に止めたほうが良いのではないでしょ</p>

	<p>うか。また、市の施設等への太陽光の設置などを進めているのならそちらを紹介したほうが良いと思います。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p>
P15 2-3	<p>「不法投棄等により動植物の生息生育空間は減少」とありますが、直接、不法投棄が生息生育空間の減少に繋がっている事例はあるのでしょうか。明確でなければ不法投棄等は書かないほうが良いと思います。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p> <p>また、「外来動植物も確認されている」とありますが、行田に限らず多くの地域で多種多様な外来種が確認されています。問題なのは特に農業や生活環境等に影響がある特定外来生物なので、例えば</p> <p>「農業や生活環境への影響が懸念される、アライグマやクビアカツヤカミキリなどの特定外来生物も増加傾向にあります」</p> <p>⇒在来種を保全するという観点から外来動植物としているので、このままの表現とさせていただきます。</p>
P15(1)	<p>ここはネイチャーポジティブについて各章なので、下記の様な文言を加えてはどうでしょうか</p> <p>「～供給されるとともに、生物の生息空間としては重要な役割を果たしています」</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p>
P15(2)	<p>R4 年度の自然環境調査とはどこで行ったものでしょうか？調査対象について補足したほうが良いと思います。また、希少種だけではなく、全体で何種確認されたのかも先ずは示したほうが良いと思います。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p>
P25 3-1	<p>3段落目に「本誌に、大きな森林はありませんが」として、CO2 吸収から書き始められていますが、吸収は量的にも少なく冒頭ではなく最後に記述したほうが良いと思います。先ずは、省エネと再エネに関する記述を強調したほうが良いと思います。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p>
P25 3-3	<p>「緑地や水辺には希少な動植物が生息」とありますが、生物多様性保全で重要な視点は、希少種だけではなく普通種も含めた多様性の保全です。希少種を強調するような記述へ変更したほうが良いと思います。例えば</p> <p>「本市には、河川や水田、里山など多様な自然環境が存在し、様々な野生生物が生息しています。一方で、特定外来生物も増加傾向にあります。」</p> <p>また、オオキンケイギクについての記述がありますが、既に広域に分布しており駆除はかなり困難な状況です。あえて、書く必要は無いのではないのでしょうか。</p> <p>⇒希少種を保全することで、その周囲の普通種も保全する施策としたいので、このままの表現とさせていただきます。また、オオキンケイギクにつきましても周知の観点から同様の対応とさせていただきます。</p>

P30 1-5	<p>適応策に関する記述がありますが、重要な適応策の一つとして、熱中症対策があります。既に行田市では市内に 33 箇所の適応法に基づくクーリングシェルターが設置されています。これを具体的な取組として書き込んでも良いのではないのでしょうか。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p> <p>また、その下に「気候変動について」というコラムがありますが、ここは、「適応策について」としてより適応策に絞って説明したほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>⇒気候変動全体の説明のため、このままの表現とさせていただきます。</p>
P33 食品ロスについて	<p>「食品ロスの発生量は」とありますが、全国なのか県なのかが明示されていません。明示したほうが良いと思います。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p>
P34 3	<p>「多くの河川があり～」ですが、河川が荒廃しているような記述になっています。工夫が必要なのではないのでしょうか。また、「外来種の流入」とありますが、「流入」という言葉はあまり使わないと思います。「侵入・定着」などのほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p>
P39 生活環境	<p>合併処理浄化槽の法定検査（11 条検査）の検査率は埼玉県は低い状況にとどまっています。検査率の向上は、河川水質のさらなる改善や、生物多様性保全にも繋がります。一覧に加えることを検討しても良いかもしれません。</p> <p>⇒まずは設置を重要なこととしたいため、このままの表現とさせていただきます。</p>
P43	<p>ここから適応計画になりますが、なぜ適応計画を作る必要があるのかなど、少し説明があっても良いのではないのでしょうか。</p> <p>⇒ご指摘いただいた点を踏まえ修正いたしました。</p>